弥生時代

名前

問1　弥生時代の遺跡から見つかる、はしごを使って出入りする形式の建築物について、この建物が普及した背景として最もふさわしい歴史的な出来事はどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 大陸から本格的な稲作の技術が伝わり、収穫した稲を長期間保存する「貯蔵」の必要性が生まれたこと。
2. 仏教が伝来し、寺院の建築様式として床を高く作る技術が大陸から導入されたこと。
3. 大規模な戦争が絶えなかったため、敵を見張りやすくするために全ての建物を高く作ったこと。
4. 気候の寒冷化が進んだため、人々が地面の冷気から逃れるために生活拠点を高い場所へ移したこと。

問2　3世紀、邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏に使いを送り「朝貢」を行った政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）

1. 中国の大国の権威を背景に、国内における自らの支配の正当性や地位を高めるため
2. 中国の優れた文字（漢字）を学び、律令制度に基づいた中央集権国家をいち早く形成するため
3. 中国から仏教を公式に導入することで、宗教の力を用いて争いの絶えない国内を鎮めるため
4. 中国の進んだ稲作技術を独占し、食料生産を安定させることで人口を増やすため

問3　弥生時代の文化を象徴する遺物である「銅鐸」について、その使用目的や出土傾向を正しく説明しているものはどれか。（2024年 京都府公立入試 類似）

1. 最新の農耕技術を伝えるための工具として、兵庫県や島根県などの沿岸部のみで限定的に使用された。
2. 実際の戦いや狩猟で使用するための実戦的な武器として、東日本を中心に広く普及した。
3. 豊作を祈るための祭りの道具として用いられ、滋賀県や和歌山県を含む近畿地方で多くの出土が確認されている。
4. 縄文時代から続く伝統的な風習において、死者を埋葬する際に手足に装着する装身具として使われた。

問4　弥生時代、稲作の普及によって余剰生産物が生まれると、富を蓄えた有力者が現れ、各地に小規模な政治集団である「国」が形成されました。当時の倭（日本）の有力な王は、中国の王朝から自らの地位を正式に認められることで、周辺諸国に対する権威を高めようとしました。西暦57年に、倭の「奴国」の王が中国の後漢の皇帝から授かった、その地位を証明するための品物として正しいものを選びなさい。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

1. 三角縁神獣鏡
2. 稲荷山古墳から出土した鉄剣
3. 「漢委奴国王」と刻まれた金印
4. 仏像や経典

問5　弥生時代から江戸時代までの外交上の主なできごとを整理した記録において、3世紀に邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏に使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号を授かった目的や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. 「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かることで、北九州の奴国を中心とした小国の連合体を統一し、女王の地位を証明するため。
2. 朝鮮半島南部での鉄資源の確保を目的として、中国の王朝と軍事同盟を結び、高句麗や百済に対抗するため。
3. 先進的な仏教文化や律令制度を日本に導入し、天皇を中心とした中央集権国家の基盤を早急に固めるため。
4. 中国の強力な王朝との外交関係を築き、その権威を背景に国内の統治を安定させ、周辺諸国との関係を有利に進めるため。

問6　九州北部の福岡県付近で発見された弥生土器に象徴される時代には、大陸から青銅器の技術が伝わりました。この青銅器の一つである「銅鐸」は、日本において主にどのような目的で用いられたと考えられていますか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 豊作などを祈るための、祭りの道具
2. 武士が戦場で敵を攻撃するために使用した、実戦用の武器
3. 脱穀を行う際に使用する、千歯こきなどの農具
4. 大陸との交易において支払いに使われた、和同開珎などの貨幣

問7　弥生時代の集落において、収穫した稲を保存するために用いられた建築物の構造と、その目的について説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 床を地面よりも高い位置に作り、風通しを良くして湿気を防ぐとともに、ネズミなどの害を防いで稲を貯蔵した。
2. 建物の周囲に石垣を高く積み上げ、収穫した作物を敵対する他の集落による略奪から守るための防衛施設とした。
3. 建物の周りに深い堀を巡らせ、収穫物が雨水によって浸水したり流失したりするのを防ぐ排水機能を重視した。
4. 地面を円形や方形に掘り下げて床とし、防寒性を高めることで家族が共同で生活するための居住空間とした。

問8　弥生時代に邪馬台国の卑弥呼が、中国の魏に使いを送った政治的な理由として、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものを選択してください。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 日本列島に迫っていた魏の軍事的侵攻を回避するため、多額の貢ぎ物を持参して講和を結ぶため。
2. 鉄製農具の使用を全国に普及させるため、魏から大量の鉄資源を安価に輸入する独占的な貿易ルートを確保するため。
3. 律令国家の仕組みを学ぶために、魏の進んだ法制度や官僚機構を日本に導入して中央集権化を図るため。
4. 「倭国大乱」と呼ばれる国内の激しい争いを鎮め、魏の皇帝から称号を得ることで国内における統治の正当性を示すため。

問9　1世紀に倭の奴国の王が中国の後漢へ使者を送り、光武帝から金印を授かった背景として、当時の小国の王たちの目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 遣隋使や遣唐使のように、進んだ律令制度を学び取り、日本独自の憲法を制定するため。
2. 中国の皇帝から地位を認められることで、自国の権威を高め、周囲の国々に対して有利に立つため。
3. 仏教などの新しい宗教を中国から導入し、国民の精神的な団結を図るため。
4. 中国からの軍事支援を直接受け、近隣諸国を武力で一気に統一しようと考えたため。

問10　弥生時代の遺跡から出土する銅剣や銅鐸（どうたく）などの青銅器について、日本における当時の主な使用目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 佐賀県公立入試 類似）

1. 木を切り倒したり土を掘り起こしたりするための農具として使われた
2. 戦場において敵を攻撃したり身を守ったりする実戦用の武器として使われた
3. 大陸との交易において支払いに用いられる、価値の基準となる貨幣として使われた
4. 集落の祭祀（さいし）や儀式において用いられる祭りの道具として使われた

問11　弥生時代に作られた青銅器の一種で、釣鐘のような形をしており、表面に流水紋や当時の狩猟・農耕の様子が描かれていることがある、稲作の祭りなどに使われたとされる遺物を何というか名称を答えなさい。（2020年 大分県公立入試 類似）

1. 勾玉
2. 銅鏡
3. 埴輪
4. 銅鐸

問12　古代の倭（日本）の王や諸国の首長が、中国の皇帝へ貢物を送った「朝貢外交」の主な目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 中国にある高度な仏教建築の技術を独占的に導入し、日本国内に巨大な寺院を建立するため
2. 中国の皇帝から自らの地位や権威を認めてもらい、国内や周辺諸国に対する統治の正当性を得るため
3. 中国の王朝を軍事的に支配下に置き、その領土を大陸側へ広げるための足がかりにするため
4. 中国大陸での戦乱を鎮めるために、日本の強力な軍事力を提供して外交上の恩を売るため

弥生時代

名前

問1　弥生時代の遺跡から発掘された人骨の中には、石の鏃（やじり）が刺さっていたり、鋭利な刃物によるものと思われる殺傷跡が残っていたりするものが多数見つかっています。このような人骨の発見から、当時の社会状況について推測されることとして最も適切なものはどれですか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）

1. 水田稲作の普及にともない、土地や水をめぐる集落間の争い（戦い）が激しくなったこと
2. 青銅器である銅鐸や銅鏡を、死者の権威を示すための副葬品として埋葬し始めたこと
3. 狩猟や採集を中心とする生活の中で、獲物を奪い合うための小規模な小競り合いが増えたこと
4. 古墳と呼ばれる巨大な墓を造るために、強制的な労働によって多くの犠牲者が出たこと

問2　弥生時代の社会において、大陸から伝わった「青銅器」と「鉄器」の使い分けに関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 青銅器は主に通貨として流通し、鉄器は主に古墳の副葬品としてのみ使われた。
2. 青銅器は鋭い切れ味を活かして農具に、鉄器は祭りの楽器に用いられた。
3. 青銅器は書院造のような武家の住居を飾る装飾品として用いられた。
4. 青銅器は祭りの道具として用いられ、鉄器は工具や農具として用いられた。

問3　弥生時代には青銅器と鉄器がほぼ同時に日本列島へ伝わりました。それぞれの金属器が果たした役割の違いについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）

1. 鉄器は定期市での取引を円滑にするために使われ、青銅器はイスラム教の礼拝の道具として使われた
2. 青銅器は加工のしやすさを活かして農具や工具として普及し、鉄器は主に祭りの道具として使われた
3. 青銅器は前方後円墳に埋葬するための副葬品として作られ、鉄器は神社の建築のために使われた
4. 鉄器は鋭さや硬さを活かして農具や武器などの実用に供され、青銅器は主に祭りの道具として使われた

問4　紀元前4世紀頃から稲作が普及し始めた弥生時代において、近畿地方を中心に多く発見されている、釣鐘のような形をした代表的な青銅器の名称は何ですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）

1. 銅鐸
2. 勾玉
3. 前方後円墳
4. 埴輪

問5　佐賀県に位置する吉野ヶ里遺跡は、周囲を深い堀や土塁で囲んだ大規模な環濠集落である。このような集落が造られた当時の社会背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2023年 佐賀県公立入試 類似）

1. 稲作によって収穫物の蓄えや土地・水をめぐる争いが集落間で発生したため、外敵から守る必要があった。
2. 大陸から仏教が伝来し、その寺院を保護するために宗教的な儀礼として堀を巡らせる必要があった。
3. ナウマン象などの大型の獲物を効率よく捕獲するための罠として、村の周囲に深い溝を掘る必要があった。
4. 氷河期が終わり海面の上昇が激しくなったため、集落が水没しないよう高い防波堤を築く必要があった。

問6　弥生時代に使用された道具とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。（2024年 山口県公立入試 類似）

1. 稲作が始まった当初は木製の農具が中心であったが、次第に大陸から伝わった鉄器なども使われるようになった。
2. 収穫の効率を上げるために、鉄製の鎌を用いて稲の根元から刈り取る方式がこの時代に確立した。
3. 牛や馬を農作業に利用する牛馬耕が導入されたことで、大規模な水田開発が全国で一斉に進んだ。
4. 金属器のうち、青銅器は主に木材を加工するための工具として、鉄器は祭祀用の宝物として使い分けられた。

問7　弥生時代の文化を象徴する遺物である「銅鐸」について、その使用目的や出土傾向を正しく説明しているものはどれか。（2024年 京都府公立入試 類似）

1. 豊作を祈るための祭りの道具として用いられ、滋賀県や和歌山県を含む近畿地方で多くの出土が確認されている。
2. 最新の農耕技術を伝えるための工具として、兵庫県や島根県などの沿岸部のみで限定的に使用された。
3. 縄文時代から続く伝統的な風習において、死者を埋葬する際に手足に装着する装身具として使われた。
4. 実際の戦いや狩猟で使用するための実戦的な武器として、東日本を中心に広く普及した。

問8　佐賀県の吉野ヶ里遺跡に代表される弥生時代の文化や社会状況について述べた文として、背景や当時の国際関係を含めて説明したものとして正しいものを選択してください。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 百済から仏教が伝来し、聖徳太子が大陸の進んだ制度を取り入れるために十七条の憲法を制定した。
2. 有柄細形銅剣などの青銅器が大陸から伝わり、女王卑弥呼が魏へ使者を送るなど大陸の王朝との交流を通じて自らの権威を高めた。
3. 稲作が普及して定住が進んだが、大陸との交流は途絶えており、日本独自の国風文化が形成された。
4. 巨大な前方後円墳が各地に築かれ、ヤマト政権が近畿地方を中心に統一国家としての基盤を固めた。

問9　弥生時代における「青銅器」と「鉄器」の使われ方の違いについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）

1. 鉄器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、青銅器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。
2. 鉄器は縄文時代から日本列島で独自に作られていたが、青銅器は弥生時代になって初めて大陸から伝わった。
3. 青銅器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、鉄器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。
4. 鉄器も青銅器も、ともに稲作を効率化するための農具としてのみ、実用的に普及した。

問10　中国の歴史書である『後漢書』東夷伝には、1世紀半ばの57年に倭の奴国の王が使者を送り、皇帝から印綬（印と紐）を授かったという記述があります。このとき授けられたとされる「漢委奴国王」と刻まれた金印が、江戸時代に発見された現在の福岡県にある場所はどこですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 志賀島
2. 種子島
3. 壱岐
4. 対馬

問11　3世紀の日本の様子が記された中国の史書『三国志』の「魏志」倭人伝において、約30の国々をまとめ、中国の魏に使いを送ったとされる邪馬台国の女王は誰ですか。（2025年 長野県公立入試 類似）

1. 持統天皇
2. 卑弥呼
3. 北条政子
4. 推古天皇

問12　佐賀県の吉野ヶ里遺跡などの墳丘墓から出土する「細形銅剣」をはじめとした青銅器の性格について述べた文として、歴史的な事実と合致するものはどれですか。（2021年 佐賀県公立入試 類似）

1. 弥生時代を通じて、一貫して実戦での殺傷能力を追求した武器であった
2. 富や権力を象徴し、村々のまとまりを強めるための儀式や祭りに用いられた
3. 調理や食事を円滑に進めるために開発された、一般庶民の日常の生活用具であった
4. 鉄器に比べて硬度が高かったため、土木工事の道具として普及した

弥生時代

名前

問1　佐賀県に位置する弥生時代の代表的な遺跡では、居住エリアの周囲を二重の濠（ほり）や高い柵が囲んでおり、外敵を監視するための物見櫓（ものみやぐら）の跡も見つかっています。この遺跡の名称と特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）

1. 吉野ヶ里遺跡 ― 大規模な環濠集落
2. 登呂遺跡 ― 仏教寺院が建立された集落
3. 板付遺跡 ― 広場に川が流れる開放的な集落
4. 三内丸山遺跡 ― 縄文時代の巨大集落

問2　弥生時代の人々が、収穫した米を保存する建物の床を地面から高く設計した理由として、当時の工夫を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 風通しを良くして湿気を防ぐとともに、ねずみなどの害獣が侵入するのを防ぐため
2. 床下を家畜の飼育スペースとして利用し、限られた土地を有効に活用するため
3. 洪水が発生した際に建物全体が水に浮くようにし、米が濡れるのを防ぐため
4. 敵に米を奪われないよう、床下に深い穴を掘って隠し場所を作るため

問3　邪馬台国の女王卑弥呼が、当時の中国の王朝である魏に使いを送った背景やその後の状況を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。（2023年 山形県公立入試 類似）

1. 魏の皇帝から「親魏倭王」の称号や金印を授かることで、国内の小国に対する自らの権威を高めようとした。
2. 倭の奴国の王として、後漢の皇帝から金印を授かり、九州地方の交易の利権を独占しようとした。
3. 秦の始皇帝に対して不老不死の薬を献上することで、国内の争いを鎮めるための軍事支援を求めた。
4. 大陸の優れた仏教文化を直接取り入れるために、公式な使節として小野妹子を魏の都へ派遣した。

問4　7世紀初め、推古天皇の摂政であった聖徳太子は、小野妹子を遣隋使として中国の隋へ派遣しました。その際、中国の皇帝に宛てた手紙の中で「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す…」という有名な一節を記しました。この外交姿勢の背景にある、従来の中国との関係からの変化について、正しい説明を選びなさい。（2024年 宮崎県公立入試 類似）

1. 日本の天皇を中国の皇帝よりも上位に位置づけ、中国を日本の属国にしようとした。
2. 中国の皇帝に対して臣下として従う従来の形式をとりつつも、対等な立場での外交を目指そうとした。
3. 中国の皇帝からの称号を拒否し、完全に国交を断絶して鎖国体制を築こうとした。
4. 中国の皇帝に対して朝貢を一切行わず、民間商人による自由貿易のみを求めるようになった。

問5　3世紀頃の日本の様子について記された歴史書に関連して、女王卑弥呼が中国の王朝である魏に使者を送った際、魏の皇帝から授けられた称号と金印の内容として正しいものを次の中から選びなさい。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 「日本国王」の金印と勘合
2. 「漢委奴国王」の金印
3. 「征夷大将軍」の宣旨
4. 「親魏倭王」の称号と金印

問6　3世紀、邪馬台国の女王であった卑弥呼は、中国の王朝に使いを送り、その皇帝から「親魏倭王」という称号や金印、さらには多くの銅鏡を授けられたと記録されています。このとき、卑弥呼を倭の王として正式に認めた中国の王朝を選びなさい。（2021年 奈良県公立入試 類似）

1. 秦
2. 魏
3. 唐
4. 隋

問7　弥生時代に始まった、青銅器と鉄器の使い分けに関する背景について、正しい説明はどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）

1. 石器から鉄器への移行を嫌った指導者たちが、妥協案として青銅器を儀式に導入した
2. 青銅器は弥生時代の中頃に全て回収され、その原料はすべて鉄器の製造に再利用された
3. 鉄器が実用的な武器や工具に用いられる一方で、青銅器は主に集団をまとめるための祭礼や権威の象徴に特化していった
4. 青銅は鉄よりも耐久性に優れていたため、大規模な土木工事の道具としてのみ使われた

問8　弥生時代に製作された青銅器の一種で、兵庫県の五十六点や島根県の五十四点をはじめ、滋賀県や和歌山県といった近畿地方の府県で多くの出土が確認されている、豊作を祈るなどの祭礼に用いられた道具を何というか。（2024年 京都府公立入試 類似）

1. 銅鐸
2. 銅矛
3. 石包丁
4. 勾玉

問9　弥生時代に大陸から稲作が伝わり、食料を蓄えることが可能になったことで生じた社会の変化について、最も適切な説明を選んでください。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. ナウマン象などの大型動物を狩猟するために、人々は移動を繰り返しながら生活するようになった。
2. 表面に縄目の文様がある、厚手で黒褐色の土器が全国的に作られるようになった。
3. 政府から農民へ平等に土地が割り当てられ、収穫した稲を税として納める制度が整った。
4. 土地や水の利用、蓄えた食料などをめぐって、ムラの間で争いが起こるようになった。

問10　3世紀の中国の歴史書には、当時の倭（日本）の様子が詳しく記されています。邪馬台国の女王である卑弥呼が亡くなった際、直径100余歩（約150メートル）もの大きな塚が造られ、100人余りの奴隷が一緒に埋められたといった、当時の社会の様子や埋葬の風習を伝えている資料の名称を選びなさい。（2024年 沖縄県公立入試 類似）

1. 「漢書」地理志
2. 「隋書」倭国伝
3. 「魏志」倭人伝
4. 「後漢書」東夷伝

問11　1世紀頃の東アジアにおいて、中国の皇帝が周辺国の支配者に対して「みつぎ物」の見返りとして「称号」や「印」などを与える国際秩序がありました。倭の王が中国へ使いを送った歴史的背景や目的として最も適切な説明はどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 中国の皇帝に臣下として認められることで、自らの支配者としての地位を国内や周辺に示そうとした。
2. 朝鮮半島北部の小国として、中国の強力な武力による直接支配から逃れるための許可を求めた。
3. 中国と対等な立場で外交関係を築き、軍事的な同盟を結ぶことで領土を拡大しようとした。
4. 仏教などの新しい宗教を中国から正式に導入し、国を治めるための思想として活用しようとした。

問12　中国の歴史書とそこに記された倭（日本）に関する記述の組み合わせについて、記述内容から判断して「魏志」倭人伝の説明として最も適切なものを選びなさい。（2024年 沖縄県公立入試 類似）

1. 倭王が中国の皇帝に対し、自らを「日出づる処の天子」と称する国書を送ったとする記述
2. 倭人が100余りの国に分かれ、朝鮮半島の楽浪郡に定期的に使者を送っていたとする記述
3. 邪馬台国の卑弥呼が使いを送り、死後には大きな塚が作られて100人余りの人々が殉葬されたとする記述
4. 倭の奴国の王が後漢の皇帝から金印を授かり、のちに倭国全体で大きな乱れが起きたとする記述

問13　3世紀の日本において、邪馬台国の女王であった卑弥呼は、中国の北部に位置した「魏」という国に使節を送りました。その際、魏の皇帝から授けられた称号として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2021年 香川県公立入試 類似）

1. 親魏倭王
2. 征夷大将軍
3. 遣隋使
4. 漢委奴国王

弥生時代

名前

問1　弥生時代に稲作が普及すると、土地や水の利用をめぐる集団間の争いが起こるようになりました。こうした外敵の攻撃から集落を守るために、周囲に深い堀や柵を巡らせた当時の集落の形態を何といいますか。（2021年 愛知県公立入試 類似）

1. 高床倉庫　2. 環濠集落　3. 高地性集落　4. 竪穴住居

問2　日本列島と朝鮮半島の位置関係を示した地図において、九州地方の北部（現在の佐賀県付近）に位置し、大陸との交流や当時の防御の様子を今に伝える弥生時代の代表的な遺跡はどれか、選びなさい。（2020年 和歌山県公立入試 類似）

1. 岩宿遺跡　2. 三内丸山遺跡　3. 登呂遺跡　4. 吉野ヶ里遺跡

問3　5世紀、倭の五王が中国の南朝である「宋」へたびたび使者を送った目的として、当時の東アジア情勢を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 福岡県の志賀島で発見された「漢委奴国王」の金印を、宋の皇帝に返還するため。
2. 遣隋使の派遣に先立ち、中国の進んだ律令制度や仏教を日本に導入する許可を得るため。
3. 邪馬台国内での争いを鎮めるために、中国の強力な軍隊を日本国内へ招き入れるため。
4. 朝鮮半島における軍事的な指揮権や外交的な立場を、中国の皇帝に公認してもらうため。

問4　1世紀半ば、日本の小国の一つであった奴国の王が、中国の王朝である後漢へ使者を送った時期の社会状況として、最も適切なものはどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）

1. 大陸から伝わった稲作や金属器の使用が広まり、食料の蓄えや土地をめぐる集落間の争いが起こるようになった。
2. 仏教による国家の安定を図るため、聖武天皇の命によって全国各地に国分寺や国分尼寺が建立された。
3. 狩猟や採集を生活の中心とし、ナウマンゾウなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていた。
4. 巨大な前方後円墳が築造されるようになり、その周囲には死者を供養するための埴輪が並べられた。

問5　弥生時代の遺跡からは、中央に2つの穴が開いた半月形の石器が数多く出土します。この道具を用いた当時の収穫方法と、その特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）

1. 複数の石器を組み合わせて土を掘り起こし、田植えの前の耕作に使用していた。
2. 石器の鋭い側面を使い、脱穀のために稲の茎から籾をこすり落としていた。
3. 穴に長い木の柄を取り付け、稲を根元から一気に刈り取る「根刈り」を行っていた。
4. 穴に紐を通して指にかけ、熟した稲の穂先のみを摘み取る「穂首刈り」を行っていた。

問6　7世紀初め、推古天皇の摂政であった聖徳太子は、小野妹子を遣隋使として中国の隋へ派遣しました。その際、中国の皇帝に宛てた手紙の中で「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す…」という有名な一節を記しました。この外交姿勢の背景にある、従来の中国との関係からの変化について、正しい説明を選びなさい。（2024年 宮崎県公立入試 類似）

1. 中国の皇帝からの称号を拒否し、完全に国交を断絶して鎖国体制を築こうとした。
2. 中国の皇帝に対して臣下として従う従来の形式をとりつつも、対等な立場での外交を目指そうとした。
3. 中国の皇帝に対して朝貢を一切行わず、民間商人による自由貿易のみを求めるようになった。
4. 日本の天皇を中国の皇帝よりも上位に位置づけ、中国を日本の属国にしようとした。

問7　弥生時代に本格的に始まった稲作において、実った稲の穂先のみを摘み取って収穫するために使われた磨製石器を何というか。（2016年 奈良県公立入試 類似）

1. 石包丁　2. 石鏃　3. 打製石斧　4. 石匙

問8　弥生時代の代表的な遺跡である佐賀県の吉野ヶ里遺跡について、その集落の構造を説明した記述として最も適切なものを次から選びなさい。（2023年 佐賀県公立入試 類似）

1. 大規模な公共事業を行うため、周囲の山を削って平地を作り、規則正しく住居が並んでいる。
2. 収穫した稲をネズミや湿気から守るため、床を高くした高床倉庫が集落の中心に配置されている。
3. 外敵の侵入や攻撃を防ぐため、集落の周囲に深い溝（濠）を掘り、さらに柵を巡らせている。
4. 交易を円滑にするため、海岸線に沿って長い石垣が築かれ、港の機能を中心としている。

問9　長崎県壱岐市の「原の辻遺跡」は、大規模な環濠集落を特徴とし、中国の歴史書に登場する「一支国（いきこく）」の王都とされています。この一支国も含まれる当時の倭国の様子や、女王卑弥呼が中国へ使者を送った出来事について詳しく記されている書物はどれですか。（2017年 長崎県公立入試 類似）

1. 『宋書』倭国伝　2. 『後漢書』東夷伝　3. 『魏志』倭人伝　4. 『漢書』地理志

問10　「漢書」地理志や「魏志」倭人伝などの中国の歴史書には、倭の女王である卑弥呼や、それ以前の倭の小国の王が、中国の皇帝に使者を送ったことが記されています。このような古代の日中外交において、日本の支配者が中国の皇帝から称号を授かろうとした主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）

1. 中国国内でのキリスト教の布教を許可してもらい、宗教的な指導者としての地位を確立するため。
2. 中国の強力な武力や権威を背景に、日本国内の他の勢力に対して自らの支配の正当性を示すため。
3. 中国の皇帝から直接的に領土を譲り受け、日本列島を中国の行政区画の一部として統治するため。
4. 中国の皇帝と対等な立場で軍事同盟を結び、高句麗や新羅を共同で攻撃するための約束を取り付けるため。

問11　縄文時代に続く弥生時代に使われた土器は、それ以前の縄文土器と比べて薄くて硬く、赤褐色をしていることが多いという特徴があります。この土器の名称として正しいものはどれか。（2016年 鳥取県公立入試 類似）

1. 須恵器　2. 土師器　3. 弥生土器　4. 黒色土器

問12　福岡県の志賀島で発見された、「漢委奴国王」と刻まれた金印に関する記述として、当時の外交関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 長崎県公立入試 類似）

1. 聖徳太子が小野妹子を派遣した際、隋の皇帝から対等な外交の証として贈られたものである。
2. 邪馬台国の女王である卑弥呼が、魏の皇帝から親魏倭王の称号とともに授けられたものである。
3. 室町幕府の足利義満が、明の皇帝から日本国王として認められた際に授かったものである。
4. 中国の王朝である漢（後漢）の皇帝が、倭の奴国の王に与えたものである。

問13　弥生時代の遺跡からは、稲作に関連する様々な道具や施設が発見されています。収穫した稲の穂首を摘み取るために用いられた石器と、穀物を湿気やネズミなどの害獣から守るために床を高くした貯蔵用の施設の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2017年 岡山県公立入試 類似）

1. 石包丁と高床倉庫　2. 石包丁と竪穴住居　3. 和同開珎と高床倉庫　4. 銅剣・銅矛と高床倉庫

弥生時代

名前

問1　古代の日中関係をまとめた学習レポートにおいて、5世紀のヤマト王権による外交について記述する場合、その内容として正しいものはどれですか。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 邪馬台国の卑弥呼が中国の魏に使節を派遣し、「親魏倭王」の称号とともに金印を授かり、国内の小国連合の統制を強めた。
2. 小野妹子が遣隋使として中国の隋へ派遣され、対等な立場での外交を求める国書を提出して、新しい官制や憲法を導入しようとした。
3. 「倭の五王」と呼ばれる王たちが、中国の南朝に使節を派遣し、朝鮮半島での軍事的な指揮権や自らの地位を認めさせようとした。
4. 奴国の王が中国の後漢へ使節を派遣し、光武帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かって、北九州での地位を確立した。

問2　長崎県壱岐市の「原の辻遺跡」は、大規模な環濠集落を特徴とし、中国の歴史書に登場する「一支国（いきこく）」の王都とされています。この一支国も含まれる当時の倭国の様子や、女王卑弥呼が中国へ使者を送った出来事について詳しく記されている書物はどれですか。（2017年 長崎県公立入試 類似）

1. 『漢書』地理志
2. 『宋書』倭国伝
3. 『魏志』倭人伝
4. 『後漢書』東夷伝

問3　弥生時代の集落において、収穫した稲を保存するために用いられた建築物の構造と、その目的について説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 建物の周りに深い堀を巡らせ、収穫物が雨水によって浸水したり流失したりするのを防ぐ排水機能を重視した。
2. 地面を円形や方形に掘り下げて床とし、防寒性を高めることで家族が共同で生活するための居住空間とした。
3. 建物の周囲に石垣を高く積み上げ、収穫した作物を敵対する他の集落による略奪から守るための防衛施設とした。
4. 床を地面よりも高い位置に作り、風通しを良くして湿気を防ぐとともに、ネズミなどの害を防いで稲を貯蔵した。

問4　3世紀、邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏に使いを送り「朝貢」を行った政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）

1. 中国から仏教を公式に導入することで、宗教の力を用いて争いの絶えない国内を鎮めるため
2. 中国の進んだ稲作技術を独占し、食料生産を安定させることで人口を増やすため
3. 中国の大国の権威を背景に、国内における自らの支配の正当性や地位を高めるため
4. 中国の優れた文字（漢字）を学び、律令制度に基づいた中央集権国家をいち早く形成するため

問5　弥生時代の祭祀で使われた青銅器のうち、釣鐘のような独特の形状をした道具について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）

1. 表面に当時の狩猟や農耕の様子、生活風景を反映した文様が刻まれている。
2. 土でつくられ、古墳の周囲に並べることで死者の霊を慰める役割を果たした。
3. 非常に鋭い刃を持ち、敵と戦うための武器や木材を加工する工具として使われた。
4. 仏教の伝来とともに寺院に設置され、人々に時刻を知らせるために打ち鳴らされた。

問6　弥生時代に稲作が普及すると、土地や水の利用をめぐる集団間の争いが起こるようになりました。こうした外敵の攻撃から集落を守るために、周囲に深い堀や柵を巡らせた当時の集落の形態を何といいますか。（2021年 愛知県公立入試 類似）

1. 高床倉庫
2. 竪穴住居
3. 高地性集落
4. 環濠集落

問7　倭の奴国の王が、中国の後漢から金印を授かった紀元1世紀（西暦57年）ごろの世界情勢について、ヨーロッパや地中海周辺の動きを説明したものとして正しいものはどれですか。（2026年 愛知県公立入試 類似）

1. アレクサンドロス大王が東方遠征を行い、ヘレニズム文化が広がっていた
2. 地中海を囲む広大な地域を統一したローマ帝国が成立していた
3. ギリシャ人が地中海沿岸の各地にポリス（都市国家）を建設し始めた
4. 西ローマ帝国が滅亡し、ゲルマン人の大移動が本格化していた

問8　古代の倭（日本）の王や諸国の首長が、中国の皇帝へ貢物を送った「朝貢外交」の主な目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 中国の皇帝から自らの地位や権威を認めてもらい、国内や周辺諸国に対する統治の正当性を得るため
2. 中国大陸での戦乱を鎮めるために、日本の強力な軍事力を提供して外交上の恩を売るため
3. 中国にある高度な仏教建築の技術を独占的に導入し、日本国内に巨大な寺院を建立するため
4. 中国の王朝を軍事的に支配下に置き、その領土を大陸側へ広げるための足がかりにするため

問9　鳥取県の青谷上寺地遺跡などの出土品をまとめた資料では、木製品や骨角器とともに、石器、金属器、そしてこの時代の特徴的な土器が並んで示されています。これらの道具が併用されていた弥生時代の土器に見られる、縄文土器と比較した際の外見上の特徴として、最も適切なものはどれか。（2016年 鳥取県公立入試 類似）

1. 青灰色をしており、非常に硬く焼かれた朝鮮半島由来の技術で作られている
2. 表面に細目の文様がつけられ、全体的に薄手で実用的である
3. 仏教の儀式に用いるために、表面に金色の装飾や仏像が描かれている
4. 表面に縄目のような力強い文様がつけられ、全体的に厚手である

問10　弥生時代に大陸から日本列島へ伝わった金属器の特色について、銅鐸の性質をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 銅鐸に代表される青銅器は、古墳時代になってから初めて製作され、巨大な墓に副葬された
2. 青銅器は、鉄器よりも硬く鋭いため、主に開墾用の農具や実戦用の武器として普及した
3. 青銅器は、鉄器に比べて祭礼や儀式に用いられる傾向が強く、銅鐸もその一種であった
4. 銅鐸は文字を記録するための道具として開発され、当時の律令制度を庶民に伝えるために使われた

問11　弥生時代の3世紀、邪馬台国の卑弥呼が中国の「魏」に対して使いを送った目的と、その結果として当時の国際情勢から読み取れる背景として最も適切なものはどれか。（2017年 東京都公立入試 類似）

1. 隋の皇帝に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して「日出づる処の天子」という国書を届けさせた。
2. 日宋貿易を円滑に進めるために、大輪田泊のような港湾施設を整備して中国との経済的な結びつきを重視した。
3. 中国の皇帝から倭の王としての正当性を認められることで、国内の諸勢力に対する支配力を強化しようとした。
4. 全国的な徴税制度である大宝律令を確立させるために、中国から法制度の専門家を招いて政治改革を推進した。

問12　3世紀の日本において、邪馬台国の女王であった卑弥呼は、中国の北部に位置した「魏」という国に使節を送りました。その際、魏の皇帝から授けられた称号として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2021年 香川県公立入試 類似）

1. 漢委奴国王
2. 遣隋使
3. 親魏倭王
4. 征夷大将軍